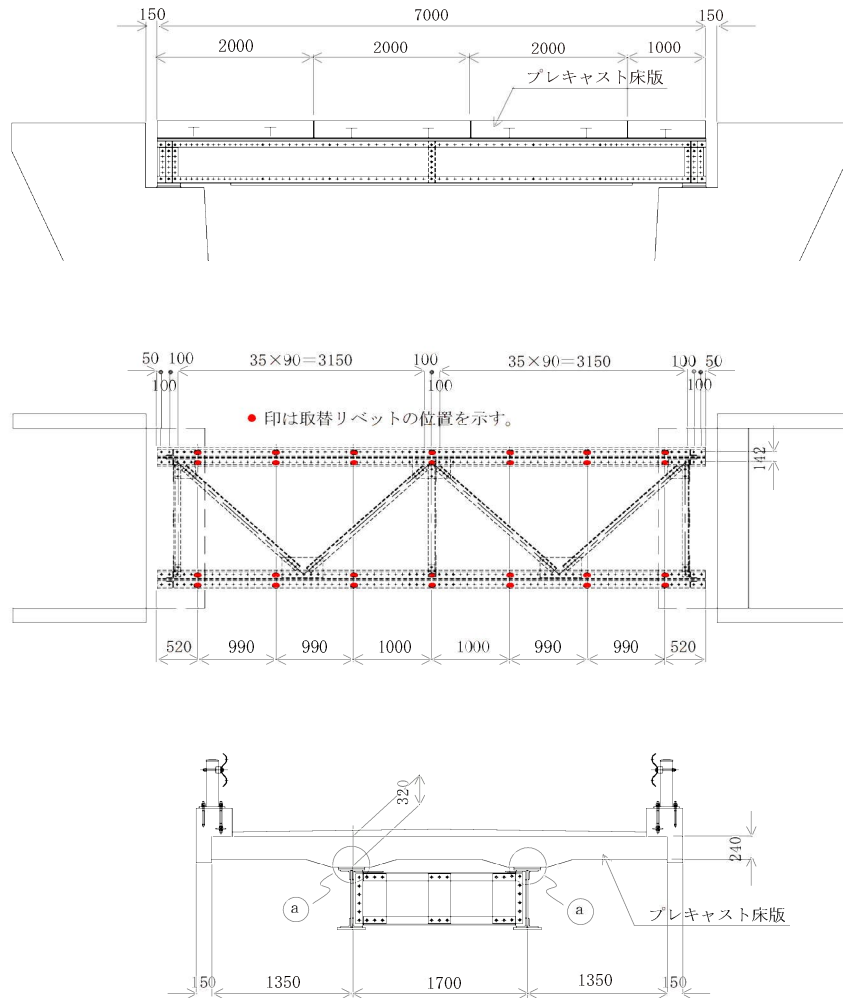


プレキャスト床版のスラブアンカー

12.07.27 S. T.

1. まえがき

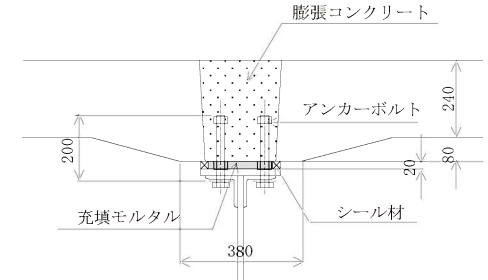
リベット桁の上にプレキャストRC床版を載せて道路橋として活用する試みがなされた。桁と床版を繋ぐスラブアンカーとして、リベットの一部を長ボルトの置換えて対処した。別段ものめずらしくもないが、新設ケースとは若干異なる構造となったので、報告する。



※ コンクリート床版が鋼桁からずれるのを防止するため、鋼桁上フランジ部（上図 a）にスラブアンカーを設置する。

2. 基本構造

既設橋梁のカバープレートを押めているリベットの一部を除去し、右図に示す所のボルトを取付けてスラブアンカーとするものである。



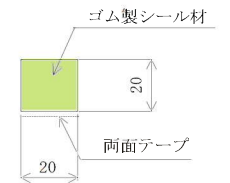
3. 施工手順

① アンカーボルトの設置

アンカーボルトの設置間隔となる 1.0 m ほどのリベットを除去してスラブアンカーとなるボルトに置き換える。

② シール材の設置

フランジの両脇に充填モルタルの型枠となるべきシール材を設置する。このシール材には、施工性と、フランジ先端に過度な荷重が作用しないようにゴム製のものをを用いる。



③ 充填モルタル

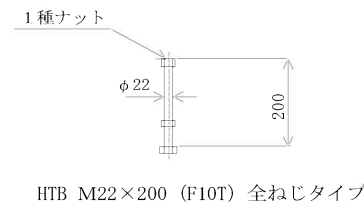
フランジ上面にリベットヘッドが密に配置されていることから床版設置後の充填は難しく、上面開放の状況下で施工する。

④ プレキャスト床版の設置

プレキャストの床版に設けられた開口部にアンカーボルトを収める形で主桁上に設置して、この開口部を膨張コンクリートで満たす。

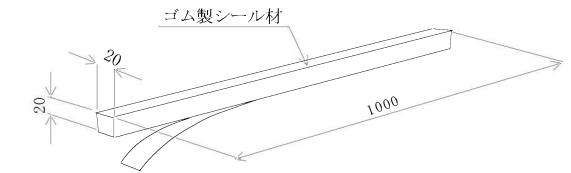
4. 構造詳細

① アンカーボルト



② シール材

ゴム棒の下面に貼られた両面テープをはがして上フランジの両端に貼り付ける。



③ プレキャスト床版の開孔

下面は、橋軸方向に多少ずれているアンカーボルトのはめ込みに十分な寸法を確保する。上面については、後打ちコア一部の引抜抵抗力を高めるため、下面よりも若干大きなものとする。

